

かつやま 12月定例会・1月臨時会報告

議会だより

2023.1.26

No.86

審議結果……………P 2

委員会報告……………P 3

一般質問……………P 5



静 寂
(1/1 清大寺)

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案
■ 表決を行ったもの

◆ 議 案 等

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
認 定 第 1 号	令和3年度勝山市歳入歳出決算の認定について	決 算 特 別	認 定
認 定 第 2 号	令和3年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決 算 特 別	可決並びに認定
議案第38号	令和4年度勝山市一般会計補正予算（第6号）	予 算	可 決
議案第39号	令和4年度勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	可 決
議案第40号	令和4年度勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議案第41号	令和4年度勝山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	可 決
議案第42号	令和4年度勝山市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	建 設 産 業	可 決
議案第43号	令和4年度勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	建 設 産 業	可 決
議案第44号	令和4年度勝山市水道事業会計補正予算（第4号）	建 設 産 業	可 決
議案第45号	令和4年度勝山市市有林造成事業特別会計補正予算（第1号）	建 設 産 業	可 決
議案第46号	勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第47号	勝山市職員の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第48号	勝山市行政組織条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第49号	勝山市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第50号	勝山市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第51号	附属機関の整理に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第52号	情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第53号	行政不服審査会条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第54号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可 決
議案第55号	勝山市男女共同参画推進条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第56号	勝山市手数料条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第57号	勝山市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第58号	子ども・子育て支援審議会条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第59号	老人ホーム入所判定委員会条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第60号	予防接種健康被害調査会条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第61号	就学支援委員会条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第62号	上下水道料金制度審議会条例の制定について	建 設 産 業	可 決
議案第63号	令和4年度勝山市一般会計補正予算(第5号)に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳 情 第 6 号	直ちに特急乗り入れ工事を中止し、北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」[しらさぎ]を、現行のまま存続させるよう、国に対する意見書を提出することを求める陳情	総務文教厚生	不 採 択
陳 情 第 7 号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書	建 設 産 業	趣 旨 採 択
陳 情 第 8 号	地方行政・地方議会において、民主主義の根幹である参政権・請願権を守る為の陳情	総務文教厚生	不 採 択

◆ 表 決 結 果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 番 号	総 投 票 数	投票数		松 本 聖 司 郎	中 山 光 平	安 岡 孝 一	富 士 根 信 子	高 間 清 一	久 保 幸 治	竹 内 和 順	吉 田 清 隆	下 牧 一 郎	近 藤 栄 紀	下 道 恵 子	丸 山 忠 男	松 山 信 裕	埴 山 寿 憲	山 田 安 信	乾 章 俊
		賛 成 票	反 対 票																
認 定 第 1 号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第49号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第50号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第51号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第55号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳 情 第 6 号	15	5	10	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
陳 情 第 8 号	15	1	14	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長
陳 情 第 7 号※	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長

○=賛成、×=反対、不=不在、議長=議長職（通常は採決に加わらない）

※趣旨採択とすることの賛否をはかりました

臨時会審議結果一覧

◆ 議 案 等

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第64号	令和4年度勝山市一般会計補正予算（第7号）	予 算	可 決

常任委員会報告

総務文教厚生委員会

今定例会の審議結果

審査の結果、議案19件について全て可決し、陳情2件を不採択としました。

◆ 勝山市行政組織条例の一部改正について

こども政策をこれまで以上に強力に推進し、学校教育と子育て支援の連携を図るために、教育委員会に「こども課」を新設し、こども政策のワンストップ化を図る旨の説明があり、就学前児童の施設等を教育会館で一括して管理する旨が示されました。

委員からは、「こども課の新設は理解できるが、すこやかでの福祉業務は複雑多岐にわたるため、その業務はすこやかのままにして、教育委員会から出向く方がスムーズではないか」、「現場の意見が反映されているのか」等の意見が出されました。

採決の結果、原案を可決しました。

◆ 附属機関の整理に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

附属機関をまとめて表にしている附属機関の設置に関する条例を廃止し、附属機関ごとにそれぞれ条例を

制定すること、現状の附属機関を45から26とし、懇話会等により幅広く有識者との意見交換を行う場と区別する見直しが行われました。

委員からは、懇話会等には委員委嘱もなく、条例で定めがないと要綱だけではチェック機能が働かなくなる危険性があるとの指摘がありました。また、理事者からは、個別に条例で定めていくものもあり、懇話会等についても議会に示していくとの説明がありました。

採決の結果、原案を可決しました。

◆ 勝山市立中学校建設基本計画(案)について

中学校再編準備委員会の進捗等の説明がありました。基本計画(案)に係る追加・修正、スクールバス(直行方式案)について協議され、新中学校の学校像(案)や※ZEB、地下通路計画、スクールバスについての資料が示された他、参考として第4回準備委員会の資料が提示されました。

委員会では、勝山高校の敷地内に建設するのは確定なのか、保護者送迎車の渋滞のおそれ、地下通路の防犯・防水の件、中高一貫教育等の市民の質問書等反対意見の提示や、ある地区での市長との意見交換会で早く造ってほしいという賛成意見が

あつたこと等、委員同士でも議論が交わされました。

教育長からは、委員からの質問に一つ一つ丁寧な答弁があり、市民の皆さんにもっと伝わる情報発信の方法を勉強し、多くの人に理解を求めていきたいと説明がありました。

※ZEB：再生可能エネルギーの導入等により年間の一次エネルギー消費量が実質ゼロまたはマイナスの建築物

建設産業委員会

今定例会の審議結果

審査の結果、議案5件について全て可決し、陳情1件を趣旨採択としました。

◆ 令和4年度勝山市下水道事業特別会計補正予算(第4号)

保田第2汚水中継ポンプ所の緊急対応として、流入する汚水の量が、貯留するための槽を設置しても対応できない現状であることから、能力の大きいポンプの設置や圧送管の仮設により、排水量の増加を図りたいとの説明がありました。

なお、圧送管の仮設完了までの間の汚水排出作業に伴う委託料も計上されました。

採決の結果、原案を可決しました。

◆ 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書

陳情内容の趣旨に理解を示す委員が多い一方で、勝山市の現状等を踏まえると、本陳情を採択とすることは難しいなど、様々な意見が出され、議論を交わしました。

採決の結果、趣旨採択としました。

◆ 農業用排水緊急確保業務委託についての方針(案)

予算委員会において、今夏の大旱災による農業被害への支援の中で、補助対象とならない地区住民等が実施した水路復旧のための手作業について、何か支援ができないかとの意見がありました。

それを受けて、理事者が県に強く働きかけを行い、県の補助事業を活用した業務委託の方針案の説明を受けました。

市長が認める大規模災害によって被害を受けた農業用取水施設や農業用排水路の用排水確保のための手作業を、市が地域住民団体に委託して実施し、被害の早期解消を図るとしています。

委員からは、市の方針案について理解を示す意見が出ました。

● 予算委員会

今定例会の審議結果

審査の結果、令和4年度勝山市一般会計補正予算(第6号)を可決、令和4年度勝山市一般会計補正予算(第5号)に関する専決処分の承認を求めることについては承認しました。

◆ 土木費(8月4日の大雨災害の影響について)

8月4日の大雨災害を中心に、今冬への影響から山の保全に至るまで議論を展開しました。

委員▼8月4日の大雨災害で河川に大きな影響が出たが、今冬の排雪に影響はないか。

理事者▼仮復旧が済み、雪への対応はできていると認識している。今後問題が見つかった時点で対応していく。

委員▼例えば、女神川支流では流量がかなり減っていて、上流を確認するとその時点で水がない。大雨災害で山の環境が大きく変わり、保水力の低下等が考えられる。

委員▼森林環境譲与税を利用し、環境の復旧や保全が行えないか。

理事者▼森林環境譲与税を活用して山の保全を行えるよう検討している。

委員▼山の保全は、水資源の確保や治水、農業、内水面漁業など多岐にわたる影響をもたらす。それらを意識した対策が必要である。

◆ 営農継続緊急支援事業補助金

この補助事業は、令和4年8月の大雨によって発生した二次的な災害による甚大な農業被害によって、農産物の生産や加工に必要な施設・機械が破損し、被災した農業者等の農業経営に支障を来す事態となっていることから、その再建等を支援し、営農の継続を図るための制度です。

委員会では、支援を受けるための基準が、事業費の整備内容ごとに50万円以上であることから、その金額を



被害を受けた農機具

下げることや機械の耐用年数・年式などの条件について議論が交わされ、委員からは、この制度を利用する被災者にとって利用しやすくなるようにしてほしいとの意見も出ました。

◆ 恐竜博物館、氷河期中

恐竜博物館休館対策として、かつやま恐竜の森わいわいワールド開催事業、鯉のぼりAgg事業、その他3つの事業の説明を受けました。

委員からは、すでに休館に入ってしまったている、冬季宿泊客全体に対応できないか、GWの次の土日は閑散期と思うが、集客につながるのと判断か等の意見がありました。

理事者からは、昨シーズンの県の県民向けスキークーポンが、本年度は全国版に広がり冬場に対応する。閑散時期も考慮し、市内の事業者と打ち合わせを重ねて出した計画であるとの説明がありました。鯉のぼりに関しては、当面継続していく意向を示しました。

会議の末、冬季の対策、4月から事業の不安点に関しては、その期間までに再度見直すこととなりました。

◆ えちぜん鉄道燃料価格高騰対策支援事業補助金

原油高による市民生活や経済活動を支える社会インフラとして、えちぜん鉄道(株)に対して、県および沿線自治体連携の下、昨年度と比べた電気料金高騰分を支援します。

影響額の見込み3800万円を県が2分の1、沿線市町が2分の1として、勝山市はその24%の456万円を予算額として計上しています。

委員▼24%の算出根拠は。

理事者▼勝山市内の路線の長さ、人口割、乗客数等を考慮して算出している。市の負担割合は、沿線市町の合意の上、決めている。

特別委員会報告

● 議会改革特別委員会

オンラインの方法による委員会の開催について議論し、オンライン会議を導入することの必要性は認識しているものの、スムーズな委員会運営のためには、接続の確実性やある程度の経験が必要との意見があり、手順書などを作成して、試行してみることになりました。

また、決算特別委員会・議会広報特別委員会の常任委員会化について

議論しました。

決算特別委員会については、決算審査の基本的な考え方を確認し、他市議会の状況も勘案しながら、委員会のあり方について議論し、決算審査の内容がより充実したものになるよう様々な意見がありました。

議会広報特別委員会については、常任委員会とすることに決定しました。

今後、他の委員会とのバランスなども考慮しながら、さらに検討を深めていきます。

決算特別委員会

今定例会の審議結果

審査の結果、認定第1号「令和3年度勝山市歳入歳出決算の認定について」を認定、認定第2号「令和3年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」を可決並びに認定としました。

認定第1号の審査において、委員から出された主な意見を報告します。

◆市民と行政の協働について

○総合計画など各種計画策定には、情報の公開および市民の意見集約が大切であるが、その伝達が十分とは言えない状況がある。インターネットを活用した方法なども取り組まれているが、行政協力員の活動をさら

に支援するなど、より多くの市民と情報伝達がスムーズにできる体制を構築することに努めてほしい。

◆若者の活躍、世代間交流について

○結婚相談事業において、民間の企業等と連携して、若者の出会いの増加、世代間の認識の違いを相互理解できるように事業の展開を図ってほしい。

○勝高生が勝山産野菜を使ったキッチンレシピを発案し、市内業者によって商品化が実現された事業や、勝山農業男子・農業女子応援プロジェクトの取り組み等、若者の参加があった事業内容に期待が持てた。今後も、後継者である若者世代のやる気を高める事業展開を図ってほしい。

◆職員の処遇改善について

○新型コロナウイルス感染症予防の観点からも、各種事業を行う上で職員の負担が大きくなっており、職員のメンタルヘルス対策が重要である。

職員のストレス解消の場の提供や病後の職員のアフターフォローの充実、効果検証などメンタルヘルス対策の充実を図ってほしい。

○消防署員の山岳救助の装備については高額であるため、署員が共有して使用しているが、衛生面の観点からも装備の充足を図ってほしい。

一般質問

議：議員／理：理事者

○国民健康保険税について ○勝山ニューホテルについて

その他の質問

- ・プロポーザル方式での契約について
- ・給食費の無償化について
- ・中学校再編について

久保幸治 議員

日本共産党

議 当市で国民健康保険被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染し、または発熱等の症状により会社等を休み、給与等の支払いを受けられない場合の傷病手当金の支給について、市のホームページや広報以外に市民への周知にはどのような方法を取っているのか。

また、長年のデフレやコロナ、物価高騰などで国民の6人に1人が貧困状態に陥っており、子どもの貧困率は上昇している。このような全国状況も踏まえ、国の支援とともに市の補助で子どもの均等割をなくした場合、対象となる子どもの人数とその経費はどのくらいになるのか。

議 勝山ニューホテルは、市民の利用できる公共施設ということから、市民の税金を投入し続けてきた。今後の公共施設のあり方や運用に生かすためにも、公共施設として長年所有してきたホテルに関する総括は必要と感じている。ホテルにはこれまで（売却時まで）総額でいくらの市税が投入されたのか。

売却処分に反対ではないが、市が政策として業務を遂行する上で、議会には売却決定の事後報告だけで済ますことなどが常態化すれば、議会、議員は議論や提案、行政をチエックする機会がなくなるのではと危惧する。

理 23年間でホテルの維持管理や大規模修繕に係る経費、人件費等を含め約15億7000万円を支出した。

ホテルの売却については、民間事業者との交渉であり、情報統制の観点から慎重に協議を進めてきた。今年3月定例会では、地方自治法の規定に従い、財産の処分について議会の承認をいただくため、建設産業委員会で譲渡に至った経緯や譲渡の相手方、譲渡のスケジュール等について詳細な説明を行った。

新風会・公明
竹内和順
議員



○「こども課」新設について ○パートナーシップ宣誓制度の導入について

その他の質問

- ・今夏の豪雨災害から学ぶ地域防災について
- ・市職員のリスクリソグ「学び直し」について

議 令和5年度から行政組織の改編を行い、教育委員会事務局に「こども課」が新設され、これまで福祉児童課が所管であった0歳からの乳幼児も一元的に教育委員会が担当することとなる。

理 ここに至るまでに現場においてどのような土壌づくりをしてきたのか伺う。

理 令和5年4月に文部科学省、厚生労働省などが分散して所管する子ども政策が、内閣府外局の「こども家庭庁」に一本化される。

そこで、勝山市も市長部局と教育委員会部局で所管している幼児教育・保育、子育て支援等を教育委員会部局が一元的に所管し、支援体制を充実させるべきと判断した。

理 認定こども園制度がスタートし、市内の民間保育園の多くが幼保連携型認定こども園に移行した。内閣府所管の認定こども園に対して両者が関わる必要があるが、現状では教育委員会部局の関与は十分ではない。教育委員会部局へ子ども政策を一元化すること、認定こども園・保育園に対する関与や全ての就学前児童の教育環境改善、家庭の子育て支援の強化、小学校と児童センターの連携強化を図ることができると考えている。

議 パートナーシップ宣誓制度は、成年に達している方がお互いをパートナーであるとして宣誓できる制度で、この制度が策定されれば、中学生や高校生の生徒がLGBTQ+の相談に来るものと想定されるが、その対応は教育委員会できているのか。

理 相談があった場合、まずは当該児童生徒の悩みや不安を丁寧に聞き取り、気持ちに寄り添いながら個のニーズに応じた支援や対応に取り組んでいく。

また、校内で効果的な対応を進めるため、当該児童生徒とその保護者の意向を踏まえ、丁寧な教育相談と説明を行い、教職員間の情報共有とチームとしての対応を進める。それぞれの児童生徒が求める支援は様々であることや変化もありうることを踏まえ、先入観を持たずにその児童生徒の状況に応じて対応する姿勢を大切に取組んでいく。

市政会
下道恵子
議員



○耕作放棄地にコキアを植える企画について ○まちづくり会館の備蓄倉庫について

その他の質問

- ・多様な性に対応したファミリーシップ制度を導入することについて
- ・コロナ禍での子どもたちの身体への影響について
- ・道の駅に車中泊用RVパーク設置について



コキア畑

議 令和4年度農業委員会「耕作放棄地解消プロジェクト」が立ち上げられ、道の駅「恐竜溪谷かつやま」周辺の耕作放棄地一面にコキア1400本が、募集した市民の方や荒土小5年生の手によって植えられた。秋になり、コキアは見事に真っ赤になり、通る人の目を楽しませてくれた。ぜひ、この企画を続けてほしい。

理 テレビや新聞等のメディアに取り上げられ、連日多くの観光客が市内外から訪れ、思い思いに写真を撮るなど楽しむ様子が見られた。訪れた方からは、「すごくきれいで驚いた」「ぜひ来年も見たい」といった声をたくさん聞き、耕作放棄地を解消するモデル事業としては一定の成果を得られたと思う。

実施場所の選定やPR方法

議 令和4年度農業委員会「耕作放棄地解消プロジェクト」が立ち上げられ、道の駅「恐竜溪谷かつやま」周辺の耕作放棄地一面にコキア1400本が、募集した市民の方や荒土小5年生の手によって植えられた。秋になり、コキアは見事に真っ赤になり、通る人の目を楽しませてくれた。ぜひ、この企画を続けてほしい。

理 テレビや新聞等のメディアに取り上げられ、連日多くの観光客が市内外から訪れ、思い思いに写真を撮るなど楽しむ様子が見られた。訪れた方からは、「すごくきれいで驚いた」「ぜひ来年も見たい」といった声をたくさん聞き、耕作放棄地を解消するモデル事業としては一定の成果を得られたと思う。

実施場所の選定やPR方法

議 老朽化してきたまちづくり会館の改修が順番に行われている。

理 まちづくり会館は、災害時の避難所と位置づけられているが、市内のまちづくり会館に備蓄倉庫はあるのか。ないとすれば、今年の水害被害のことも踏まえ、備蓄品を入れる倉庫を各まちづくり会館に設置してほしい。

理 災害時の初動対応の備えとして一定量の食糧や飲料水、寝具等を備蓄しているが、備蓄倉庫を設けておらず、現状では避難スペースとなる部屋付近の空きスペースに配備している。

まちづくり会館の大規模改修を継続して実施していく中で、各施設の使用状況を勘案し、会館の中で使い勝手のよい収納スペースの確保を検討していく。十分なスペースがない場合、災害時には他の備蓄倉庫から搬送するなど、必要な備蓄品が不足することがないように対応していく。

新風会・公明
安岡孝一
議員



○ 幼児教育・保育の今後について ○ 外国人技能実習生との交流事業について

その他の質問

- ・出産・子育て応援交付金について
- ・AED（自動体外式除細動器）について
- ・下水汚泥の肥料としての再資源化について

議 市は、幼児教育・保育のより質の高いサービスを提供するため、来年度に教育委員会に「こども課」を新設し、所管を一本化する方針を示した。

理 市長自らが認定こども園や保育園を訪問し、子どもたちや保護者、当事者の声を聞きながら、縦割りの壁を超えた包括的な支援の充実をお願いしたい。

理 国は、幼稚園、認定こども園、保育園それぞれに幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針の方針を示し、いずれも全て同じ「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が記載され、目指すべき幼児教育の姿は3つの施設で共通となっている。

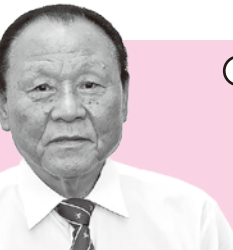
市内全ての認定こども園・保育園では、この指針に基づき、それぞれ魅力ある幼児教育・集団保育に取り組んでいる。こうしたことも広く保護者へ示していくとともに、利用者や保護者の意見を聞きながら、新しい市内の保育・幼児教育の体制をつくりたい。

議 外国人技能実習生が働く施設が増えており、医療、介護、企業の労働力不足を補っている。実習生を単なる労働力だけではなく、「ともに地域で暮らす住人」として受け入れる意識を持ち、最も身近な国際交流として、また地域を活性化する存在として積極的に交流してはどうか。

理 9月末現在、市内には18の国籍・地域から移住した284人の外国人が居住し、その半数以上の163人が技能実習などの在留資格で市内に在留し、労働者として産業を支えている。

令和5年度から市民団体と協力し、市民と外国人住民双方が参加できる市内の観光地や文化を体験できるイベントなどを実施し、お互いに交流できる機会を創出したい。また、交流イベントなどの情報を市のホームページやSNSなどに掲載するとともに、多言語に対応した情報を発信する。これらの取り組みを通じて生活習慣や文化の違いを知り、理解を深め、お互いが支え合うことで、市民と外国人住人が暮らしやすい社会を実現していく。

市民の会
高間清一
議員



○ 旧雁が原スキー場の跡地の活用について

議 雁が原スキー場は、2020年2月に自己破産申請をしているが、それ以降、スキー場としての営業はしていない。

スキー場の跡地を通年型リゾートとして運営を期待する市民は多くいるが、ホームページで検索すると九頭竜テラル高原というタイトルのページが出てくる。大野・勝山のスキー場が掲載されており、事務局は大野・勝山地区広域行政事務組合に置かれている。そこで、次の3点について伺う。

① 雁が原スキー場の跡地を有効活用したいという民間事業者がいる場合、どのような許可が必要なのか。

② 九頭竜テラル高原推進協議会の昨年、本年度の具体的な事業について。

③ 勝山市は今後どのような考えを持っているのか。

理 ① 旧雁が原スキー場の跡地は、自然公園法で規制している「奥越高原県立自然公園」内にある。

自然公園は、地域の自然環境を守る観点から、特別地域、普通地域に区分される。旧雁が原スキー場の駐車場や

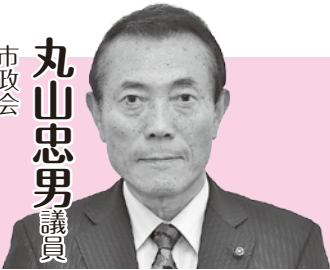
ゲレンデ等として使用されていた市有地は特別地域として規制され、工作物の新築・増設や土地の形状変更等一定の行為を行う場合は、自然公園法に基づく知事の許可または事前の届出が必要な地域となる。民間事業者等が旧雁が原スキー場の跡地を活用したい場合は、市有地の使用等に関する市との協議とともに、自然公園の利用施設としてふさわしいものか等の判断のため、詳細な事業内容について、福井県との事前協議が必要となる。

② 九頭竜テラル高原推進協議会は、勝山市・大野市のスキー場の利用促進に向けたPR事業を行っている。令和3年度はリフト券プレゼントキャンペーンを実施し、令和4年度は親子スキーツアー、インスタグラムに初滑りの写真を投稿した方の中から1日リフト券プレゼントなどを実施する予定である。

③ 旧雁が原スキー場の跡地の活用については、市の負担が発生する活用は困難だが、民間事業者等から事業提案の相談があれば、事業内容を確認して対応していく。

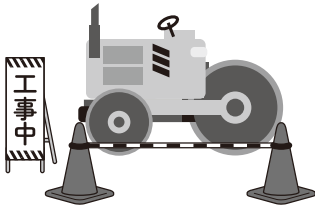
市政会

丸山忠男
議員



○ 市内道路の年間整備計画について ○ 融雪道路の年間計画について

その他の質問
・ 防災対策の観点から



議 ① 市内道路の年間整備計画における現在の進捗状況について伺う。

理 ② 突発的な事案や日々の道路パトロール、90歳を超えるような高齢者や障害を持つ市民からの生活道路に対する要望についてどのように対応しているのか見解を伺う。

理 ① 本年度の当初計画では、舗装工事として29路線で約2kmを、側溝等の改修として約1kmを計画した。

11月末時点で舗装工事は29路線で約1.8kmが施工済みで、年度内には2路線で約0.2kmを施工する予定である。側溝等の改修は約0.8kmが施工済みで、年度内には約0.2kmの工事が完成予定である。

② 突発的な事案について市民から連絡があった場合など

は、担当職員が現地を確認し、口頭記録書を作成して報告する。その際に、緊急度と優先度をA、B、Cの3段階で記入している。その結果に基づき、迅速な対応が必要かどうかを判断している。

また、市民や高齢者から生活道路に対する要望を個別に受けることもあるが、道路は不特定多数の方が利用する施設であるため、個別の事情に応じて対応することが難しい場合もある。しかし、高齢者等が増加していくことも踏まえ、今後も市民の意見や事情をしっかりと聞きながら対応していきたい。

議 融雪道路の年間計画並びに現在の進捗状況について、担当課の見解を伺う。

理 市が管理している融雪道路の総延長は19.4kmで、本年度は勝山地区沢町周辺の旧労働金庫ビルから北へ延びる市道の融雪施設が新たに229m稼働する予定である。

現在、各路線で冬の本格稼働に向けた点検・調整作業を行っており、委託業者が試験運転を行いながら散水ノズルの点検・調整を行っている。

現在、各路線で冬の本格稼働に向けた点検・調整作業を行っており、委託業者が試験運転を行いながら散水ノズルの点検・調整を行っている。

新風会・公明

松本聖司郎
議員



○ 人口減少対策へ向けた市民への意識付けについて

議 過疎化の原因を考えるにあたり、私の見てきた街の状況の例えとして、勝山市は恐竜や自然といった物を柱とした「机」、次世代は熟成を待つ「ワイン」とする。そのワインは飲み頃を迎え、瓶から出てくるが、受け皿であるグラスが足りないため、ワインは大事にしている机にそのままぶちまけられる。その状況に机は拭かれ、何も乗っていないテーブルの存在価値は観賞用にこそなれ、本来の用途を全うせず、彩り潤うことはない。

私が委員会等で、学校の関連の議題のときにキャリア教育を強く推したのは、その環境に負けず、受け皿に自らなる子が出る可能性を少しでも高め、生産世代の雇用環境の継続に繋げるためである。

理 意識付けを含む人口減少解消に向けた市長のまちづくり、人づくりへの方針を伺う。

理 第6次総合計画の策定にあたり、市民意見交換会などの場でこれまでに勝山市が取り組んできた政策を説明するとともに、現在の人口構成から今後予想される出生数や人口構成の変化を前提に市民から様々な意見・提案をいただいた。それらを踏まえ、本年4月にスタートした第6次総合計画および第2期地方創生総合戦略では、安全安心な生活環境の整備や地域コミュニティの活性化による市民満足度の向上、多彩な交流によるにぎわいの創出などを一体的に取り組むことで、まちの魅力向上を図ることとした。

少子高齢化による人口減少時代にあつて、地方の市町村は、人口構成や人口規模にあったインフラ整備を進めることが必要と考える。

地域コミュニティの弱体化、公共施設の供給過多など人口減少に起因する様々な社会的課題に1つずつ対応し、市民、行政、各関係機関が一体となって人口構成の変化に即した人づくり、まちづくりに取り組んでいく。

議 10月の大仏イベントは大盛況で、続くなら移住を考える20代、30代の方もいた。次世代の受け皿の1つが作れたと感じている。

こういった「大人が動き、変われば子どもが変わる」という県の方針に沿った施策も、同時進行で考えてほしい。

新風会・公明
松山信裕
議員



○市制施行70周年について ○人生のエンディングについて

その他の質問
・公共交通について

- 議** 市制施行70周年を令和6年度に迎える。記念事業として、歴史、文化、風土など地域の特色を生かした事業や将来を担う子どもたちが、勝山の未来に夢が膨らむような市民提案型、庁内各課から提案募集など、まだ2年前だが、準備期間、予算を踏まえて取り組みを開始してほしい。
- 理** 市制施行70周年を迎えるにあたり、これまでの勝山市の歩みを振り返り、将来にかなげていけるような事業を計画したい。
- 令和5年夏の恐竜博物館のリニューアルや令和6年春の北陸新幹線福井駅開業、令和7年以降には平泉寺白山神社のご開帳、中部縦貫自動車道全線開通、統合中学校の開校、県立大学恐竜学部の開学など勝山市にとって重要で大きなプロジェクトが続く。
- 市制施行70周年事業をこれらの中核に据えて、市議会や区長会、若者、女性等から意見をいただき、70周年を全市民で祝福し、市民が改めてわがまちに対する誇りを高められる機会となるよう令和5年度の早い時期には準備に入りたい。
- 議** ①故人や遺族の状況に応じて必要な手続きを抽出し、申請書作成の補助、受付、関係する課への案内等を行うワンストップサービスを提供する窓口「おくやみコーナーの設置」と「おくやみコーナー設置自治体支援ナビ」を導入すべき。
- ②住み慣れた地域で最期まで安心して暮らすことができよう、見守りや安否確認に加え、葬儀、納骨、家財処分、役所の手続き等を死後に代行する「エンディングサポート事業」の導入を提案したい。
- 理** ①死亡届の提出時以後の様々な手続きに必要な書類や返還物、業務の担当課や連絡先を記載した一覧表と申請書等を合わせた「おくやみセット」を遺族に渡し、その一覧表に沿って各種手続きを進めていただいている。
- おくやみコーナー等の先行事例を研究しつつ、現在のおくやみセットを充実させ、遺族へのさらなる支援策を実施していく。
- ②まずは終活に関する市民の意識を高めることに取り組んでいきたい。

新風会・公明
下牧一郎
議員



○感染症対策について ○児童虐待について

- 議** 文科省は、今冬に新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行する可能性が「極めて高い」とした報告書を出して警鐘を鳴らしている。
- 感染症対策として教室等の換気が必要とされているが、十分な換気ができているかを把握する方法として、「学校等における感染症対策等支援事業」等で補助対象となっている二酸化炭素濃度測定器の導入が推奨されているが、当市の導入見解を問う。
- 理** 市内の各小中学校では、二酸化炭素濃度測定器の普通教室などへの設置が進んでおり、二酸化炭素濃度が1500 ppm以下となるように換気を行っている。
- ある学校では、生徒が委員会活動として、休み時間などに二酸化炭素濃度測定器の数値をチェックし、必要があれば換気を行う活動を始めようとしており、生徒らの新型コロナウイルス感染症に対する危機管理意識の向上にも繋がっている。
- 議** 厚生労働省の令和2年度「児童相談所における児童虐待件数」によれば、児童相談所の相談件数の中でも虐待件数が急増している。
- 被虐待児は、乳幼児だけでなく学齢期の児童の増加も目立つ。児童をどのように虐待から守ることができるか、その対応が急がれる。
- 近年、スクールソーシャルワーカーが小中学校を中心に配置され、児童の支援にあたっているが、当市の活動内容と児童虐待の実態を問う。
- 理** 市では、県のスクールソーシャルワーカーが1名配置され、学校だけでは対応が困難な場合、家庭訪問をして本人や家族と面談を行ったり、福祉・医療などの橋渡し役として連携や調整を行ったりしている。
- 児童虐待の実態としては、虐待に関する相談件数は、令和3年度は0件、令和4年11月末現在でも0件である。
- 全国的には児童虐待の件数は増えており、市民の関心が増し、通報を含む様々な相談が寄せられている。これまでも、疑わしきは虐待案件と捉え、大事な事案に至らないように対応をしている。今後とも関係機関と連携し、児童虐待防止に努めていく。

新風会・公明
吉田清隆
議員



○ 防犯隊について ○ 小中学生の不登校について

その他の質問
・まちづくり会館の名称について

議 防犯隊は福井県独自の防犯団体で、犯罪のない安全で住みよい地域社会を実現するための活動を行っている。

勝山市は、交通機関の整備や観光施設の充実が見込まれ、防犯隊の負担はますます大きくなると思う。

防犯隊は、消防団員から選ばれているが、防犯隊の報酬は消防団員の報酬に比べて低い。防犯隊の報酬の見直しをしてはどうか。

また、防犯隊の制服は、夏の猛暑を考えるとTシャツでも可能ではないか。防犯隊の制服について伺う。

理 防犯隊の報酬の見直しについては、現時点では著しく低い状況ではないため、今後他市の状況も踏まえながら検討していく。

防犯隊員の制服については、隊員全員に制服は支給しているが、捜索活動などの際に着用する活動服は全員に支給できていない。今後は活動服を見直し、「勝山市防犯隊」と明記されたビブス等を支給し、夏場はTシャツ等の上に、冬場は防寒着の上に着用し、季節に合わせて快適に活動できるよう検討していく。

議 令和3年度の全国小中学生の不登校は24万4940人で過去最多を更新した。福井県は計1087人で、全国で最も低い結果であった。

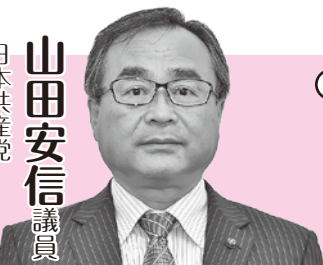
県総合教育会議で「相談専用スペースも人員も少ない中で苦勞している」、「教員1人に責任を背負わせないで」等の対応を各学校で準備しておく必要があるのではとの発言があった。

勝山市の小中学校の不登校数、学校の対応策としての準備について伺う。

理 小中学校における不登校の児童生徒の数は、11月現在で24名。

学校の対応策としては、学校に来るのが楽しいと思える学校づくりや相談しやすい雰囲気づくりの「未然防止」、休み始めたらずに担任やスクールカウンセラーによる面談や家庭訪問、教員と保護者による相談会など、チームで対応する「初期対応」、欠席が続く場合には医療や福祉など外部機関と連携して支援を行う「自立支援」の3点を意識して取り組んでいる。

日本共産党
山田安信
議員



○ 中学校を勝山高校グラウンドに建設する計画の問題について

その他の質問

・県立恐竜博物館の臨時休館対策と、観光事業について
・子育て支援日本一をめざす取り組みについて
・全国で始まっている高齢者等への「補聴器購入助成」を勝山市でも直ちに実施すべき

議 ①9月に始まった市民署名は、3月議会に出された4000筆を超え、北部中学校区では住民過半数を超える勢いで、北郷町伊知地、鹿谷町志田、荒土町伊波と北宮地の4地区では世帯数の8〜9割が署名されているようだ。この住民の声が議会に反映しているのか。北部中学校区の4議員は全員が計画に賛成し、反対する議員は1人もいない。

6月議会で「ある中学校区で住民の過半数が反対しても強行するのか」と私の質問に、教育長は「理解を得るようにする」とだけ答えた。

その後、説明会などをしたが、市民の理解は得られていない。それでも市長は強行するのか見解を伺う。

②8月に教育長は「市民の大多数が反対している状況ではない」、大多数とは「国語辞典ではほとんど全部との説明で、そういう線を考えていきたい」と述べ、これだと市民の過半数が反対しても尊重せず、国民主権や物事を民主的に決めることを否定することになるが、市長も同じ考えなのか、勝山では子どもたちに教育長の説明のように教えるのか伺う。

ているのか伺う。

理 ①中学校統合にあたっては、校区によって環境等が異なるため、意見の違いが生じることはありうると受け止めている。

ただし、平成16年の小中学校のあり方検討委員会設置から長い年月をかけて検討を積み重ね、その中で方向性の変更も行いながら、最終的には勝山市立中学校再編検討委員会から示された「中学校は1校に再編統合すべき」との答申を踏まえて進めている。

これまでの経緯の重みを踏まえ、引き続き、再編計画の実現に向けて努めていく。

②質問の趣旨は、民主主義の進め方ということだと思いが、一般的に物事を進めていく上で、賛成や反対の数を見ることはあるが、様々な意見がある中で議論をしながら進めていくのが民主主義の基本と考える。必ずしも数が全てというふうに学校では教えない。学校では、少数の意見を踏まえつつ、様々な観点から総合的に判断して最適解を見つけていくことを指導していただいていると思う。

市民の会
富士根信子
議員



○ 小笠原333年祭への協力と北陸新幹線開通に対しての誘客について ○ 市史編さん室の図書館移設と勝山市立郷土資料館設置の提案

その他の質問

- ・中学校再編計画について
- ・公立保育園の廃園理由について

議 教育会館3階にある市史編さん室は、大変狭く、閲覧しにくい状態にある。文化財

保護・保全のために市立図書館2階にある行政資料室に移転してはどうか。

さらに、勝山市全体が分かつる郷土資料館の設置や市内に点在する資料館の環境整備、専門家の配置について見解を伺う。

理 2024年は小笠原公が勝山に入封してから333年目の記念の年となる。この時期に小笠原333年祭として何かイベントができないか考えている。

このような市民の取り組みを北陸新幹線の誘客施策の1つとして取り組む計画はあるのか伺う。

理 第6次総合計画の政策目標として掲げている「やりたいうことに挑戦できるまちを創る」ために、わくわくクラウドファンディングイベント事業補助金などの補助メニューがある。それらを活用して、まずは自分たちが楽しみながら小笠原公を顕彰するイベントの実施をお願いしたい。

議 図書館の行政資料室は、

図書館の重要な機能の1つになっており、図書館サービスの維持のために必要である。

各時代を象徴する文化財関連施設（縄文遺跡等資料室、白山平泉寺歴史探遊館まほろば、旧木下家住宅、はたや記念館ゆめおーれ勝山）を巡ることで、勝山市全体の歴史や文化に触れることができる

と考える。文化財関連施設が一体となつて勝山市の歴史・文化を知る機会の創出や情報発信などを行うとともに、歴史や文化を身近に感じ、気軽に知ることができるよう方策を検討していく。

まほろばとゆめおーれ勝山には学芸員を常駐させ、ジオや歴史、考古学の専門員・学芸員は商工文化課に配置している。展示や講座の開催には学芸員等を参集し、議論を進めている。

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

理 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

市民の会
中山光平
議員



○ 新型コロナ対応について

その他の質問

- ・市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について



※①②



※③

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

理 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

理 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

このままでは調べたのか。また、市で周知を図れるか。

理 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 厚労省のホームページの情報には膨大にあり、調べる市民の負担が大き過ぎる。

次に、別の観点からも情報を共有するが、これらの調査を個々人に求めるのは異常である。

※①インフルエンザワクチンは、09年10月～22年3月の間に20件の死亡例があるが、新型コロナウイルスは22年9月までの約1年半で約1670件の死亡例が報告されている。

※②財務省が作成した資料でもインフルエンザと新型コロナウイルスを比較し、重症化率等がほぼ変わらないことが示唆されている。

※③予防接種健康被害救済制度認定者数では、制度ができから約45年で最も多く認定者数を出したMMRWワクチンは1041件だが、新型コロナウイルスは接種開始から2年足らずで1228件の健康被害者が認定されている。

（11月24日時点）

他市では、偏った情報にならないよう独自に周知方法や接種券の一律配布方法の見直しを行っている。市民に誠実な対応をしてこそ、我々の仕事である。

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について

議 新型コロナウイルス感染症の発生により、市民、議員、行政間で発生するコミュニケーション不全について



小笠原333年祭に向けて

江戸時代1691年に勝山藩主小笠原氏が入封し、菩提寺である開善寺では鐘楼門があり、背後に初代貞信から8代長守までの歴代藩主や家族のお墓が建てられています。これが小笠原家累代廟所で市指定文化財（史跡）になっています。

現在「本家 勝山小笠原の会」は、清掃美化とイベントに力を入れ、「竹とうろう」、「殿さままつり」、「殿さま感謝祭」と3回の行事を行い、市民の憩いの場となるよう活動しています。2024年の北陸新幹線開通時期に小笠原333年祭を開催して、勝山城下町の伝統の継承とまちなかへのさらなる誘客を期待しています。

（富士根 信子 記）



大雨災害の早期復旧に向けた支援を要望

8月4日に発生した大雨災害の早期復旧に向けた支援に対する要望活動を、10月には地元選出国會議員に、11月には県知事、県議会議長に行いました。



櫻本副知事（写真右から2番目）に要望書を手渡す乾議長（同中央）。

3月定例会一般質問予定日

3/8（水）・9（木）
両日とも 午前10時～

詳細はこちら→



議会日誌

10月27日	決算特別委員会、東京都昭島市議会行政視察受入（厚生文教委員会）	28日	本会議、全員協議会
28日	総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会	12月 2日	スキージャンプ勝山スキー場開き、県下一斉年末特別警戒激励
29日	市民総合文化祭	5日	本会議（一般質問）、議会運営委員会
31日	決算特別委員会	6日	本会議（一般質問）
11月 2日	決算特別委員会	7日	総務文教厚生委員会
3日	勝山市教育委員会表彰式	8日	建設産業委員会
4日	福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会	9日	予算委員会、議会広報特別委員会
7日	福井県市議会議長会議員研修会（オンライン）	12日	議会改革特別委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会
9日	全国市議会議長会評議員会（東京都）	15日	議会運営委員会、建設産業委員会、全員協議会、本会議
10日	兵庫県南あわじ市議会行政視察 受入（産業厚生常任委員会）	21日	大野・勝山地区広域事務組合議会
13日	関西勝山会・勝高会（大阪府）	26日	勝山・永平寺衛生管理組合議会
16日	北陸新幹線建設促進大会（東京都）、岩手県金ヶ崎町議会行政視察 受入、決算特別委員会	1月 7日	消防出初め式
17日	建設産業委員会、総務文教厚生委員会、県知事要望	10日	議会運営委員会、1月臨時会本会議、予算委員会、全員協議会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、議会広報特別委員会
22日	勝山市雪害対策会議	16日	議会広報特別委員会
23日	永年勤続優良従業員表彰式、のぞみフェスタ		
24日	勝山市防犯隊秋季錬成大会		

編集後記

あけましておめでとうございます。今冬は積雪が少なく、大変過ごしやすい年明けとなりました。

各種イベントも開催の方向で検討されています。今回の表紙に選んだ清大寺でも参拝客が多く見られ、コロナ禍以前の状態に戻りつつあると感じました。

さらに良い方向に向かえるよう、今年も勝山市議会一同、尽力いたします。

（中山 光平 記）

《議会広報特別委員会》

委員長 下道恵子 副委員長 松本聖司郎 中山光平 富士根信子 久保幸治

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 〈URLアドレス〉 <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

〈Eメールアドレス〉 gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画



Facebook